

寒冷地域におけるコンクリートのサステナビリティ

主催 社団法人セメント協会

後援 土木学会北海道支部 日本建築学会北海道支部
日本コンクリート工学会北海道支部 日本建設業連
合会北海道支部 建設コンサルタンツ協会北海道支
部 北海道建設業協会 北海道土木技術会 北海道
生コンクリート工業組合

趣旨 北海道などの積雪寒冷地では、あらゆる分野で他の地域に見られない特殊事情を抱えており、セメント・コンクリートの分野においても、厳しい環境下でのサステナビリティの確保が特に求められている。本セミナーでは、この分野のエキスパート5氏を講師に招き、これまでの事例を振り返りつつ今後の展望を語っていただく。参加者各位には、セメント・コンクリートのサステナビリティのための技術に必要な情報を吸収し、明日からの業務に役立てていただきたい。

- **日時** 2013年3月14日(木) 10:00～16:35
- **場所** 北海道大学学術交流会館 講堂
[〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目]
- **定員** 200名(定員になり次第締切らせていただきます)
- **受講料** 1名あたり 10,000円(テキスト代を含みます)
- **申込先** 受講ご希望の方は、2013年3月5日(火)までに、
 - ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXで下記へお申込ください。
 - ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 社団法人セメント協会、口座番号: 00170-9-196803)にお振込みください。
 ①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。また、銀行振込希望の方は、下記宛ご連絡下さい。
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062
- 本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です。



◎JR「札幌駅」下車、徒歩10分
◎市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩15分
◎市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分

講演

1 **セメント化学から見たコンクリートのサステナビリティ** 10:05～11:05

セメント化学の最近の研究は、10億分の1メートルの極小世界でのセメント水和反応による生成物とそれが形成する微細構造の詳細を示してきている。この驚異的な進歩はコンクリートの長寿命化をミクロの情報から達成するものであり、ここでは最新のセメント化学の成果とコンクリートへの応用例を示し、サステナビリティへの展望を述べる。

キーワード: 長寿命化、セメント水和反応、微細構造形成、塩害、乾燥収縮、凍害
北海道大学大学院 工学研究院 教授 **名和豊春氏**

2 **北海道新幹線建設の現況** 11:15～12:15

2012年6月、北海道新幹線の札幌までの建設が認可された。これが完成することで我が国土に札幌から鹿児島まで新幹線の背骨が形成される。2015年度末には新青森から新函館(仮称)間の先行開業が予定され、はじめて津軽海峡を新幹線が渡ることとなる。佳境となった先行区間の工事状況と札幌までの概要、今後の展望等について紹介する。

キーワード: 整備新幹線、北海道新幹線、事業概要、酷寒地対応
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 北海道新幹線建設局 次長 **渡邊修氏**

3 **北海道における戦前期RC造建築の展開と現況・課題** 13:15～14:15

北海道のRC造建築は、大正期に現れるが、飛躍的に建設されていくのは昭和9年の函館大火復興前後からである。戦前期北海道のRC造建築の変遷と展開について、函館や札幌を中心に概観し、関わった技術者の紹介のほか、北海道や旧樺太(サハリン)に現存するRC造歴史的建造物の現況と課題についてふれる。

キーワード: 北海道庁、樺太、木田保造、大火復興、東本願寺
北海道大学 名誉教授、NPO 歴史的な地域資産研究機構 代表理事 **角幸博氏**

4 **各種表面保護工法のコンクリート構造物耐久性改善効果と適用範囲** 14:25～15:25

表面保護工法は、コンクリート構造物の長寿命化を簡便かつ経済的に支える工法の1つである。ここでは、表面被覆、表面含浸、モルタル吹付けあるいは犠牲陽極塗膜等について、それぞれの特徴、性能、適用範囲等を概説し、塩害環境や寒冷地等で、多様な選択肢の中から適材適所にこれらの工法を活用するに資する情報を提供する。

キーワード: コンクリート構造物、表面被覆、表面含浸、吹付けコンクリート、犠牲陽極塗膜
鹿児島大学工学部海洋土木工学科 教授 **武若耕司氏**

5 **コンクリート分野における国際規格化の現状・展望** 15:35～16:35

コンクリート分野において、試験方法、設計、施工、維持管理等に関する国際規格化の動きが加速されている。規格類の国際化には、自由な競争の妨げとなる障壁が排除される一方で、国内で長い間適用されてきた方法が消えさる危険性もはらんでいる。ISO/TC71やユーロコード、アジアモデルコードを題材として、国際規格化の現状と課題を述べる。

キーワード: 国際化、ISO、ユーロコード、アジアモデルコード、寒冷地での耐久性
北海道大学大学院 工学研究院 教授 **横田弘氏**

第302回 コンクリートセミナー受講申込書

●セメント協会普及部門宛(FAX. 03-5200-5062)にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. - -
FAX. - -

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。
●受講料は郵便振込・銀行振込致します。(どちらかに○をつけて下さい)

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。